

2020年2月14日

株式会社ファイバーゲート

2020年6月期第2四半期 決算説明資料



上場市場 : 東証第一部 札証
証券コード : 9450

 **2020年6月期2Q決算実績**

 **2020年6月期決算見通し**

 **3つの経営課題**

 **トピックス**

Appendix

1

2020/6期2Q実績：36%増収28%経常増益

- ✓ レジデンスWi-Fiなどストック型ビジネスの好調に変化なし
- ✓ 顧客増に伴い先行投資負担拡大。FCFの黒字化には至らず

2

2020/6期見通し：従来想定を据置き

- ✓ 2Q時点で進捗度が高いが、保守的なスタンスを継続

3

3つの経営課題

- ✓ 長期的な企業価値拡大に向け、3つの経営課題に着手
- ✓ 既に一部課題には対応を開始済み



Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

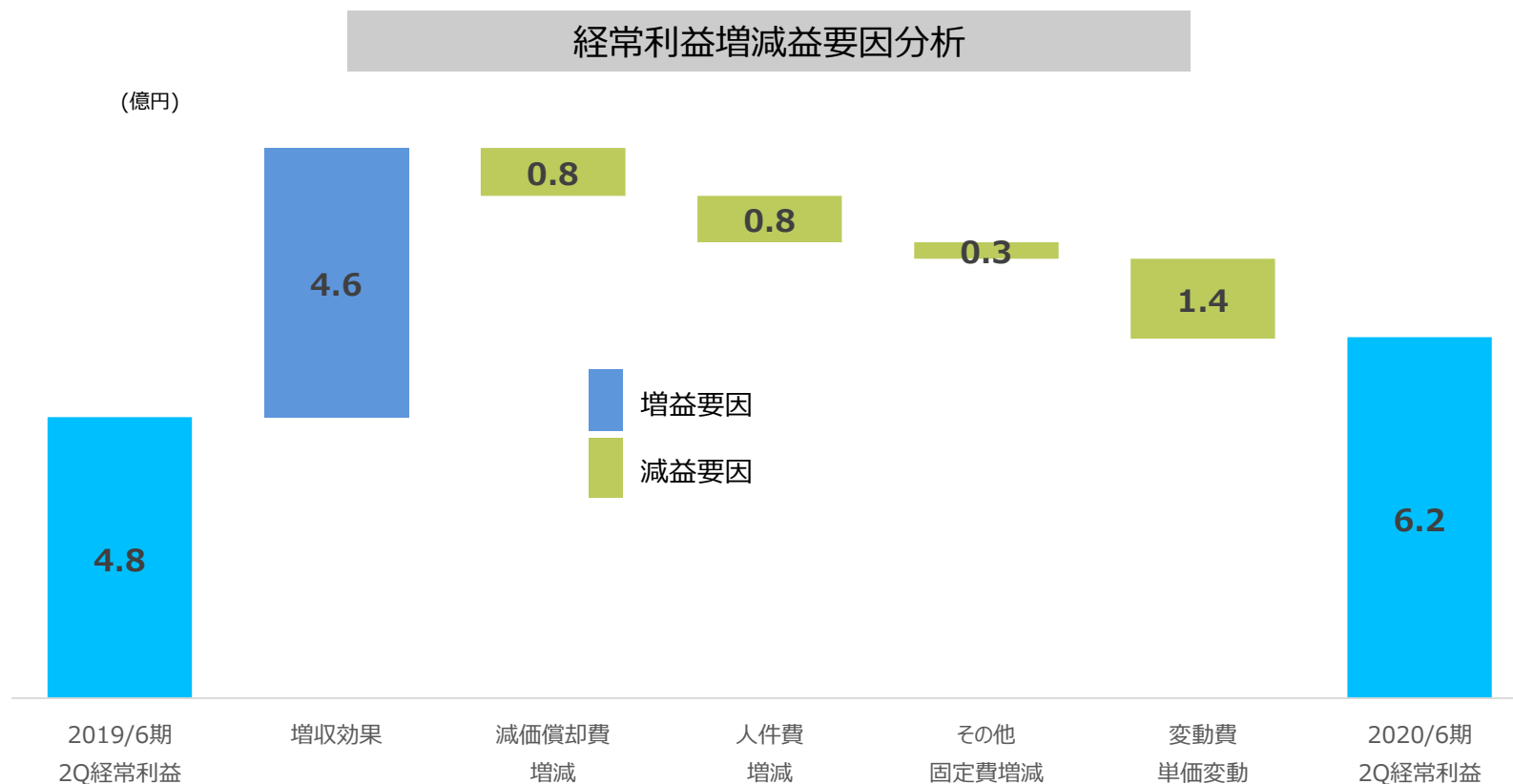
2020年6月期2Q決算実績

- 高い成長ピッチに変化なし。前年同期比36%増収、28%経常増益を達成
- 事業別にはレジデンスWi-Fi事業41%増収、フリーWi-Fi事業22%増収
- 通期見通し進捗率は経常利益で59%と順調。出遅れたフリーWi-Fiも着実に挽回

(百万円)	2019/6期 2Q累計実績	2020/6期 2Q累計実績	前年同期比		2020/6期通期	
			増減額	増減率	見通し	2Q進捗率
売上高	2,524	3,436	+911	+36.0%	6,910	49.7%
レジデンスWi-Fi事業	1,853	2,617	+764	+41.2%	5,040	51.9%
フリーWi-Fi事業	671	818	+146	+21.8%	1,870	43.7%
営業利益	496	637	+140	+28.3%	1,070	59.5%
レジデンスWi-Fi事業	563	735	+171	+30.3%	1,290	56.9%
フリーWi-Fi事業	205	242	+36	+17.7%	680	35.6%
調整	▲272	▲339	▲67	▲24.5%	▲900	37.7%
経常利益	484	622	+137	+28.4%	1,060	58.7%
当期純利益	307	390	+82	+26.9%	670	58.2%

*百万円未満、0.1%未満切り捨て

- 最大の増益要因は売上増。固定費・変動費のコストアップを吸収して増益を確保。ただし、結果的に高採算フロー案件のウエイト低下があったため、結果的に利益率は若干の低下
- 固定費上昇は顧客増に伴う先行投資たる償却費増、本社基盤整備費用計上に起因

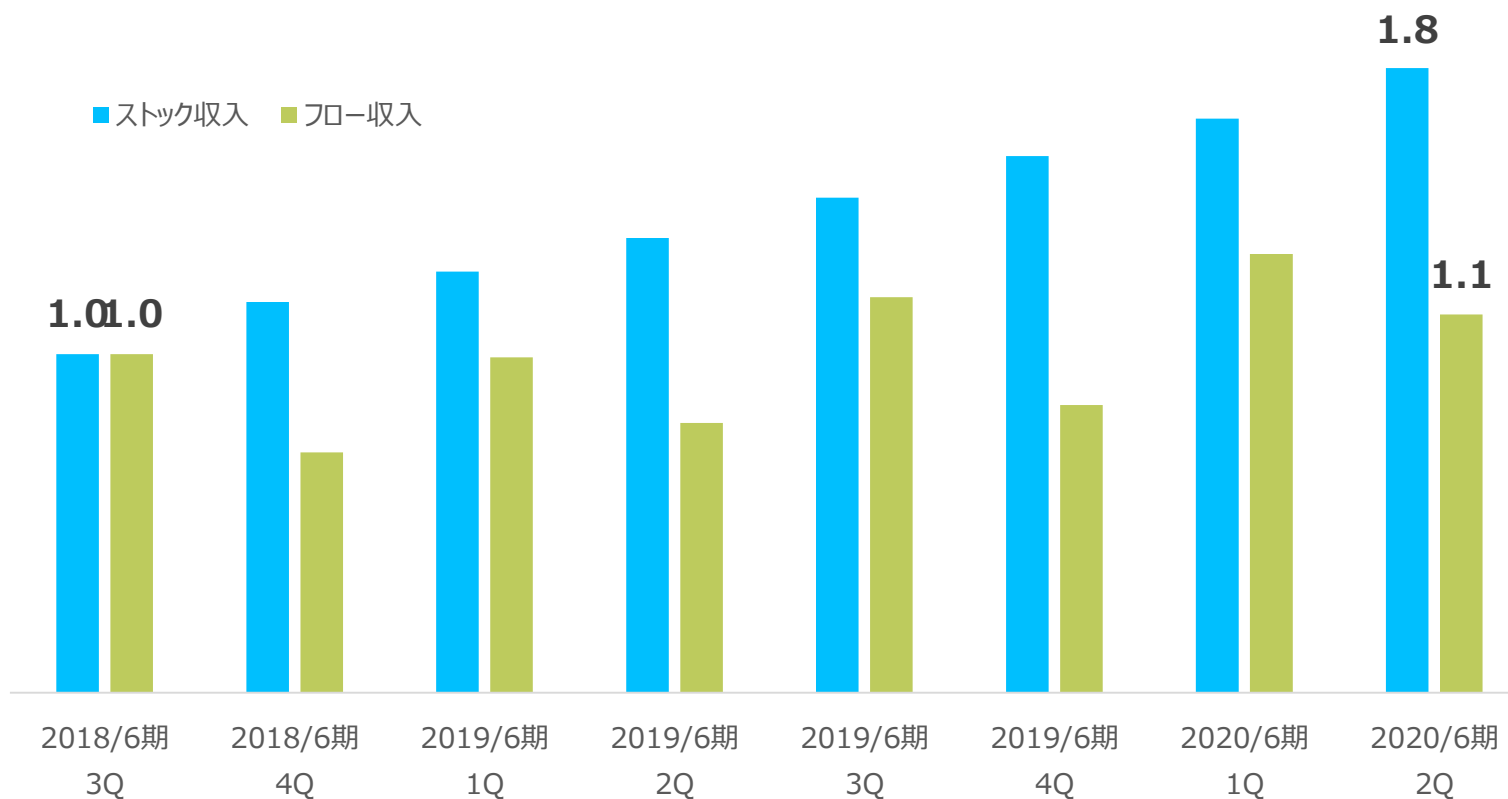


- 2020/6期2Qは、レジデンスWi-Fiを牽引車に前年比で39%増収・30%経常増益
- ただし、前1Q比較ではレジデンスWi-Fiで消費増税の反動が発現。一方、加速感はまだながら、フリーWi-Fiは着実に成長。四半期売上では過去最高に

(百万円)	2019/6期 1Q	2019/6期 2Q	2019/6期 3Q	2019/6期 4Q	2020/6期 1Q	2020/6期 2Q	前期比較
売上高	1,293	1,230	1,523	1,398	1,730	1,705	▲25
レジデンスWi-Fi事業	956	896	1,117	1,103	1,368	1,249	▲118
フリーWi-Fi事業	337	334	406	295	362	455	+93
営業利益	304	192	345	94	389	248	▲140
レジデンスWi-Fi事業	336	227	361	271	441	293	▲147
フリーWi-Fi事業	104	101	137	28	111	130	+19
調整	▲136	▲136	▲153	▲205	▲163	▲175	▲12
経常利益	298	186	336	65	381	240	▲141
当期純利益	189	118	215	28	245	144	▲100

*百万円未満、0.1%未満切り捨て

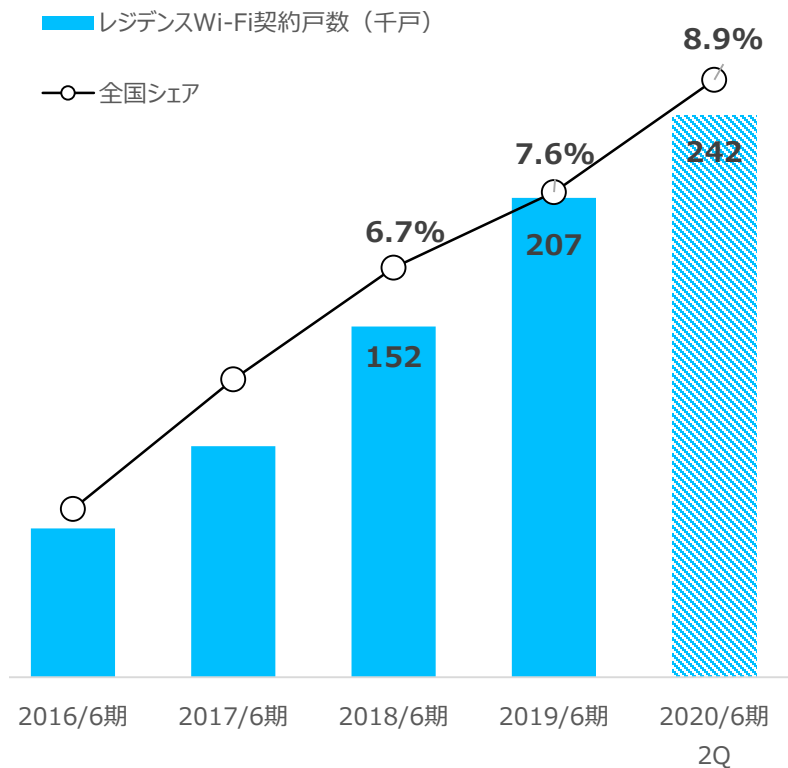
- ストック収入は7四半期連続で増加。2018/6期3Qを基準とすれば、1.8倍にまで増加
- 一方、フロー収入は季節性による変動はあるものの、概して一定規模を維持
- フロー収入はストック収入への入口。フロービジネスの着実なストック転換の進捗を確認



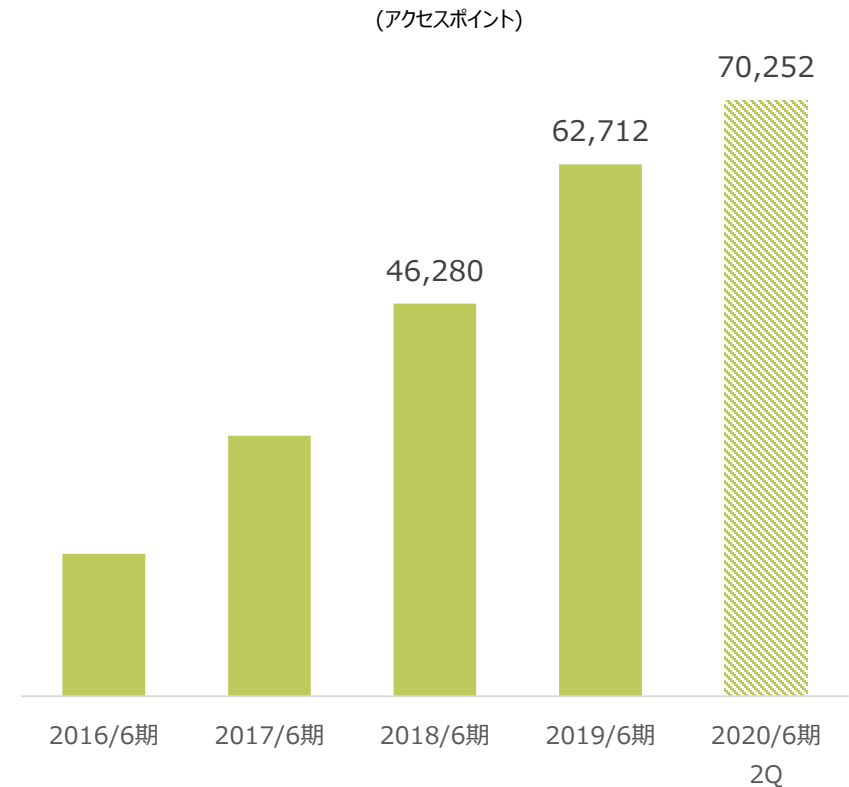
注) 2018/6期3Q=1 として指数化。小数点以下の差により、同じ数値表記にもかかわらず、見かけ上グラフの高さに違いが生じることがある

- レジデンスWi-Fi契約戸数は2Q末で24.2万戸まで拡大。全国シェアも9%程度に上昇
- フリーWi-Fiのアクセスポイントも着実に数字を積み上げ、7万ポイントを突破

レジデンスWi-Fi契約戸数と全国シェアの推移



フリーWi-Fiアクセスポイント数 (注) 推移



*全国シェアはMM総研発表による全戸一括型マンションISPの提供戸数総数（各3月末現在）を当社会計年度末（もしくは直近四半期末）の契約戸数実績で除して算出

(注) 当社の認証システムを利用しているアクセスポイント数

連結決算概要(貸借対照表)

- 自己資本比率は39.8%まで上昇。財務安定性はさらに向上
- 固定資産増は顧客拡大に伴う先行投資に起因。キャッシュアウト先行構造に変化なし

(百万円)	2018/6期	2019/6期	2020/6期 2Q	2019/6期 末比増減
流動資産	2,202	2,351	2,575	+224
現預金	1,118	1,058	1,086	+27
売掛金	918	993	1,161	+167
棚卸資産	138	269	285	+16
固定資産	2,154	2,955	3,508	+552
有形固定資産	2,020	2,806	3,356	+549
総資産	4,364	5,311	6,088	+776
負債	2,984	3,330	3,672	+342
有利子負債	2,422	2,378	2,665	+287
その他	562	951	1,006	+54
純資産	1,380	1,981	2,415	+433
負債純資産合計	4,364	5,311	6,088	+776

顧客増に伴う
先行投資負担継続

売上増に伴って増加

顧客増に伴い設備関連
先行投資が拡大

有利子負債は若干増
先行するキャッシュアウトに
対応

自己資本比率39.8%
前期末の37.3%より上昇

*百万円未満、0.1%未満切り捨て

連結決算概要(キャッシュフロー計算書)

- 顧客増加ピッチ好調で運転資金負担は増加。設備向けの先行投資負担も拡大
- 本業好調により、ビジネスモデルの特性上、FCF黒字化は一旦先送り

(百万円)	2018/6期 2Q	2019/6期 2Q	2020/6期 2Q	前年比 増減額
営業CF	211	570	583	+13
税前当期利益	249	478	612	+133
減価償却費	190	272	355	+83
債権債務増減	▲63	▲44	▲103	▲58
その他	▲164	▲135	▲280	▲145
投資CF	▲512	▲570	▲885	▲314
有形固定資産取得	▲499	▲562	▲870	▲308
フリーキャッシュフロー	▲300	0	▲301	▲301
財務CF	456	93	330	+236
有利子負債増減	418	93	287	+193
株式発行収入	39	0	0	±0
現金等期末残高	929	1,212	1,086	▲125

前年比28%経常増益

売上増に伴って増加

売上増に伴って
キャッシュアウトが先行

業績好調による
法人税負担の増加

新規顧客向け設備増

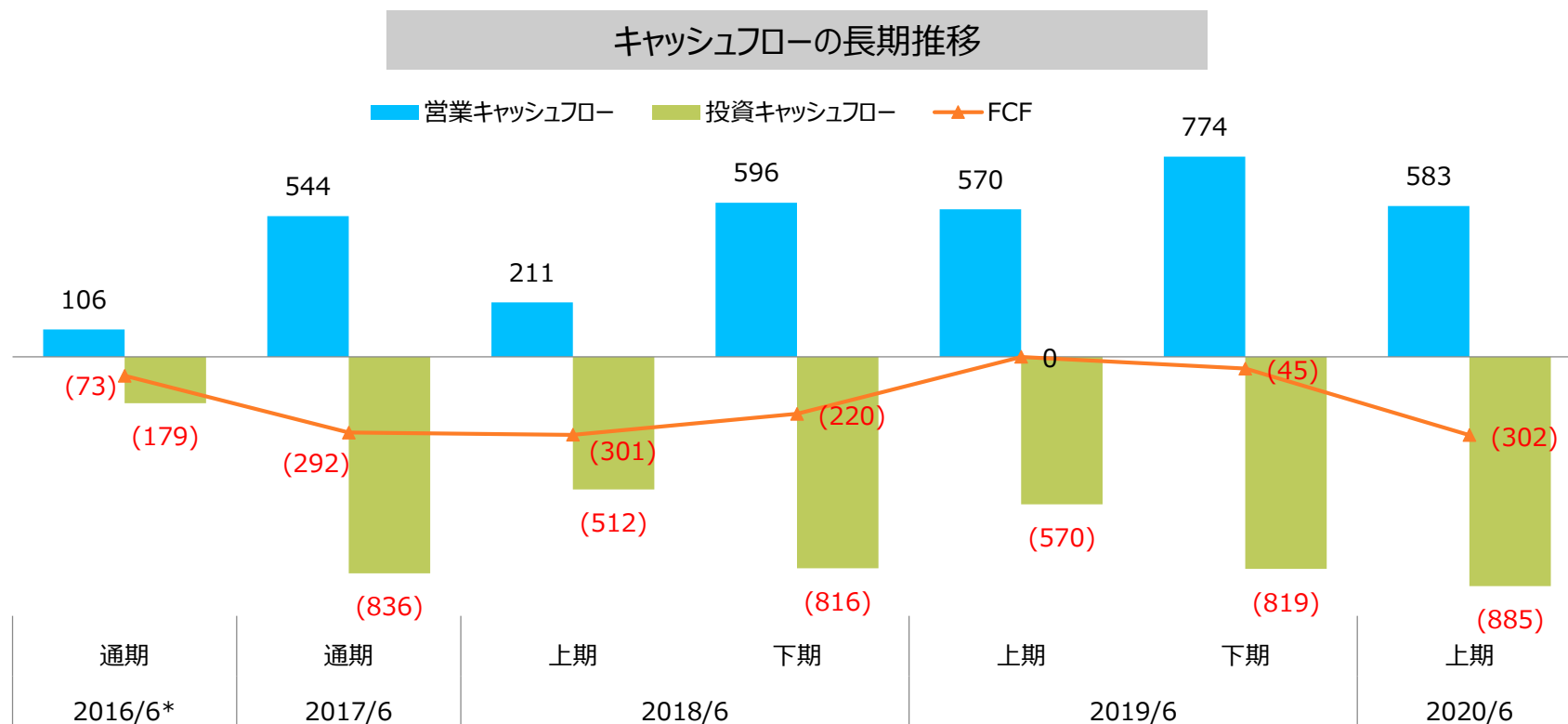
顧客増ピッチ速く、
FCF黒字化は一旦先送り

先行するキャッシュアウトに
対応

手元流動性は潤沢

*百万円未満、0.1%未満切り捨て

- 2020/6期は顧客獲得が好調な故に、FCFの赤字幅が一旦拡大
- これは先行投資負担が重くなるというビジネスモデルの宿命。目途がついたFCF黒字転換ながら、現時点では業容拡大を優先
- 手元キャッシュは潤沢。間接金融による資金調達も勘案すれば資金繰り面に不安なし



*2016/6期は6ヵ月決算



Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

2020年6月期決算見通し

- 売上高・経常利益ともに従来見通しを据置き。進捗順調だが、保守的なスタンスを継続
- 契約戸数やアクセスポイントは30～40%増を想定。同時に内部管理強化も推進

(百万円。百万円未満切り捨て)	2018/6期	2019/6期	2020/6期 見通し	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	3,977	5,446	6,910	+1,463	+26.8%
レジデンスWi-Fi事業	2,862	4,073	5,040	+966	+23.7%
フリーWi-Fi事業	1,115	1,373	1,870	+496	+36.1%
営業利益	560	936	1,070	+133	+14.3%
レジデンスWi-Fi事業	818	1,197	1,290	+92	+7.7%
フリーWi-Fi事業	272	371	680	+308	+83.0%
調整	▲530	▲632	▲900	▲267	▲42.2%
経常利益	510	886	1,060	+173	+19.5%
当期純利益	312	550	670	+119	+21.6%
* <前提>					
レジデンスWi-Fi契約戸数 (千戸)	151.5	207.0	276.0	+69.0	+33.3%
フリーWi-Fiアクセスポイント数 (千AP)	46.2	62.7	88.0	+25.3	+40.3%

- 今下期は対前年比増収見通しも、損益的には基盤整備コスト計上で横ばい圏の想定
- セグメント別には、フリーWi-Fi見通しが下期はやや挑戦的な想定となる一方、レジデンスWi-Fiは上期の進捗率高く、下期想定はかなり保守的。フリーWi-Fiで幾分の想定未達があったとしても、レジデンスWi-Fiで大きな成長鈍化なければ全社想定は十分射程圏

(百万円)	2019/6期 上期	2019/6期 下期	2020/6期 上期	2020/6期 下期見通し	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	2,524	2,921	3,436	3,473	+552	+18.9%
レジデンスWi-Fi事業	1,853	2,220	2,617	2,422	+202	+9.1%
フリーWi-Fi事業	671	701	818	1,051	+350	+49.9%
営業利益	496	439	637	432	▲6	▲1.5%
レジデンスWi-Fi事業	563	633	735	554	▲78	▲12.4%
フリーWi-Fi事業	205	165	242	437	+271	+2.6倍
調整	▲272	▲359	▲339	▲560	▲200	▲55.6%
経常利益	484	402	622	437	+35	+8.7%
当期純利益	307	243	390	279	+36	+14.9%

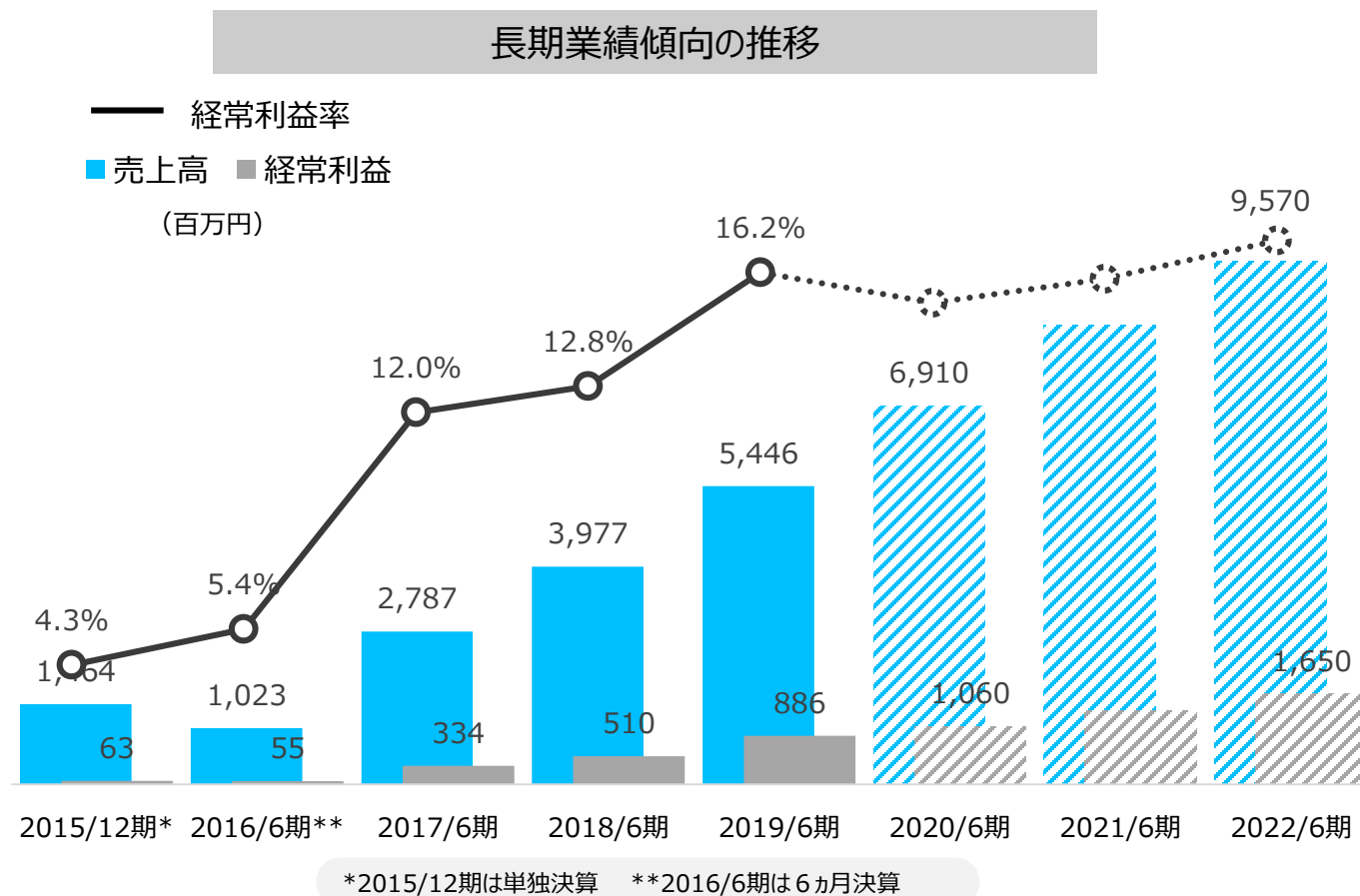
*百万円未満、0.1%未満切り捨て

下期～来期に向けての当社の経営課題

- ストック収入のさらなる拡大、その導線となるフロー収入のビジネスチャンス獲得に向け、3つの経営課題を想定。一部課題には既に対応を開始済み
- 時間を要しても抜本的な課題解決を優先し、長期的な企業価値拡大に向けて注力

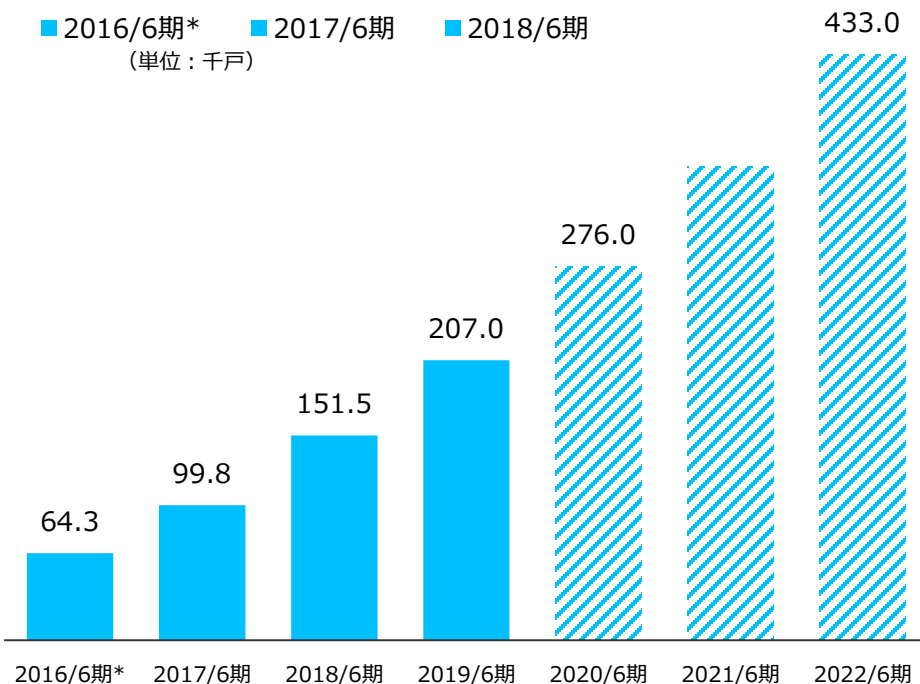
経営課題	①基盤整備の充実	②フリーWi-Fiの成長加速	③オルタナティブキャリア構想実現に向けた対応
対応領域	通信技術関連投資 ガバナンス強化	販路開拓の強化 営業効率の改善	ローカル5Gへの対応 Wi-Fi6への対応 Home IoTへの対応
対策方針	IPv4 over IPv6強化 管理基幹システムの刷新	顧客訴求力引上げ 成功パターンの共有	各種通信方式の研究 Home IoTモデルの上市
アクションプラン	エンジニアの積極採用 非常勤役員の常勤化 による管理部門強化	ワンタッチWi-Fiの レンタルモデルの開発 営業体制テコ入れ	スマートロックなど ワンストップソリューション提供

- 2022/6期に向けて一段の業績拡大を実現し、高収益体質の確立も急ぐ
- フロービジネスを入口にストックビジネスの積上げを目指し、経営の安定化と成長を追う
- 通信市場は5Gの進展で拡大加速へ。Wi-Fiも第6世代へのシフトが今後は進行



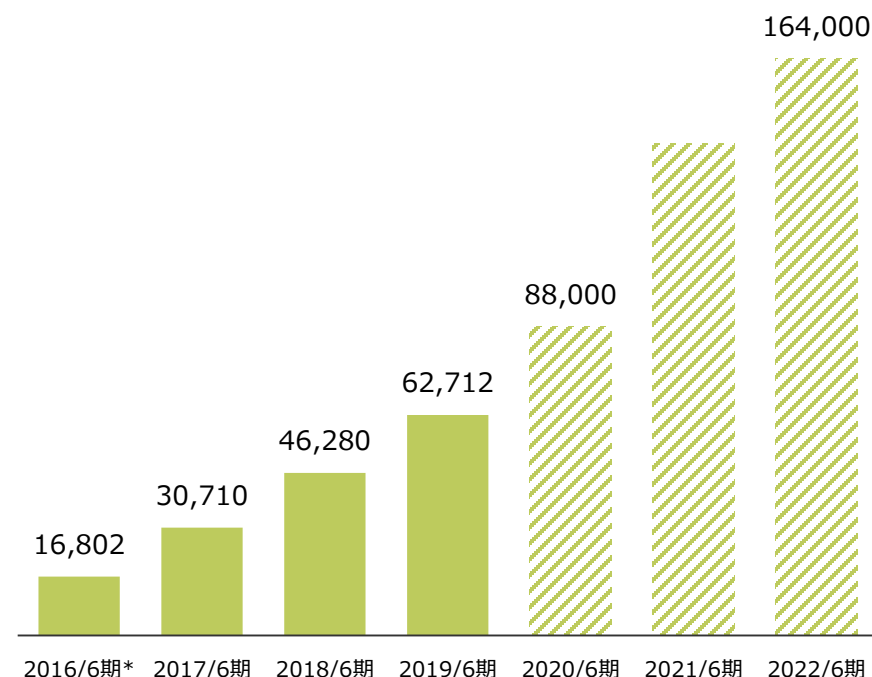
- レジデンスWi-Fiの累積契約戸数はやや想定を上回るペースで順調に拡大
- フリーWi-Fiのアクセスポイントも今後の拡大ピッチ加速進展を想定

レジデンスWi-Fi契約戸数



フリーWi-Fiアクセスポイント数 (注) の推移

(単位：アクセスポイント)



*2016/6期は6ヵ月決算

注：当社の認証システムを利用しているアクセスポイント数



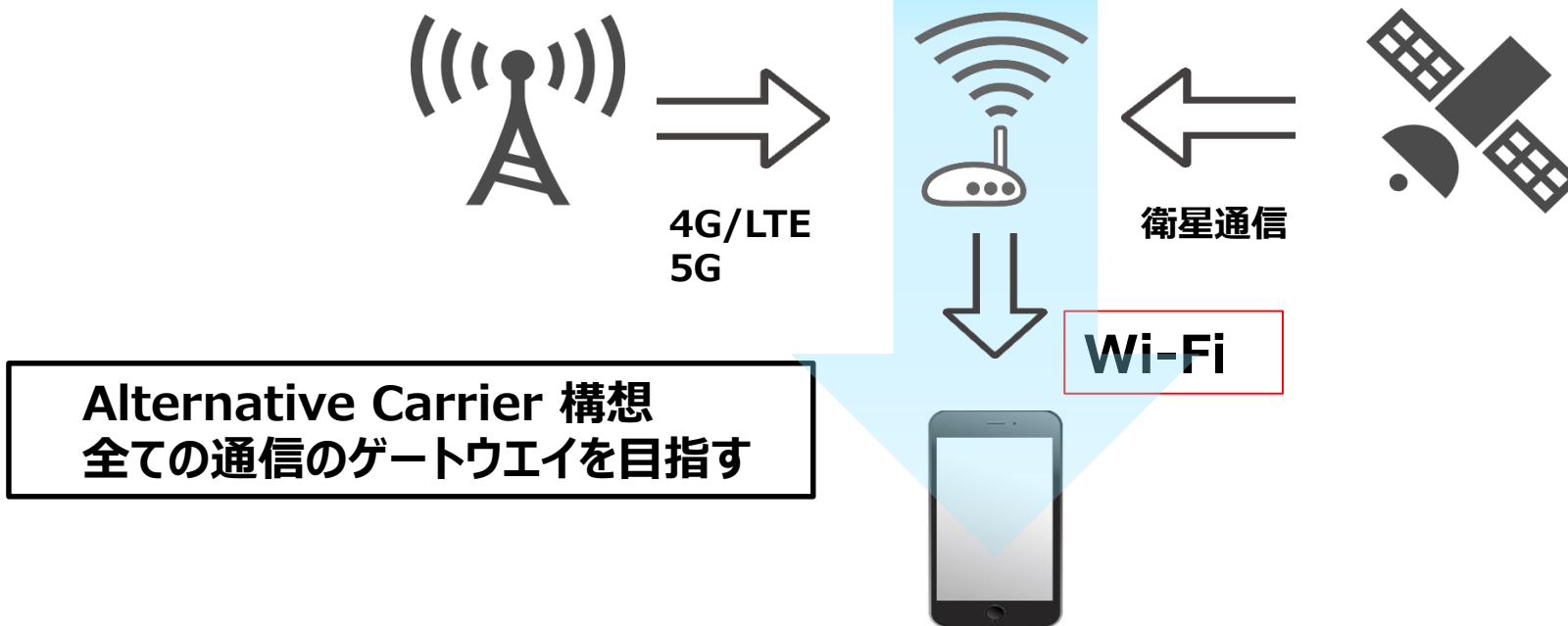
Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

トピックス

<開発子会社FG-Lab>

Alternative Carrier 構想実現に向けて、
独自の通信サービス構築への商品開発拠点





合併会社概要

出資比率（予定）： 当社 82%、朝日ネット 18%

主な事業：法人向け通信サービス事業、FGNプラットフォーム販売事業、
法人向けデータセキュリティサービスの開発・販売

合併会社設立日：2020年3月予定

合併会社営業開始日：2020年7月予定

合併会社設立の経緯

当社・朝日ネット間で以下の2分野において業務提携締結（2018/8）



- ①ネイティブ方式のIPv6接続サービスを活用した新技術開発
- ②業務オペレーション支援サービスの構築

両社の強みを更に活かすより強力な販売網構築を実現に向け、業務提携の深化で合意

現行株主優待 ~2020年6月末

2,000円~4,000円相当当社オリジナル・クオカード

新株主優待 2020年12月末~

保有株数と期間に応じて株主優待ポイントを進呈

保有株式数	12月末	6月末
300株~399株	2,500ポイント	2,500ポイント
400株~499株	3,500ポイント	3,500ポイント
500株~599株	5,000ポイント	5,000ポイント
600株~699株	7,500ポイント	7,500ポイント
700株~799株	10,000ポイント	10,000ポイント
800株~899株	12,500ポイント	12,500ポイント
900株以上	15,000ポイント	15,000ポイント

株主様限定の新設インターネットサイト（ファイバークート・プレミアム優待倶楽部）において、優待ポイントを食品・電化製品・ギフト・旅行・体験など3,000点以上の商品と交換



Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

Appendix



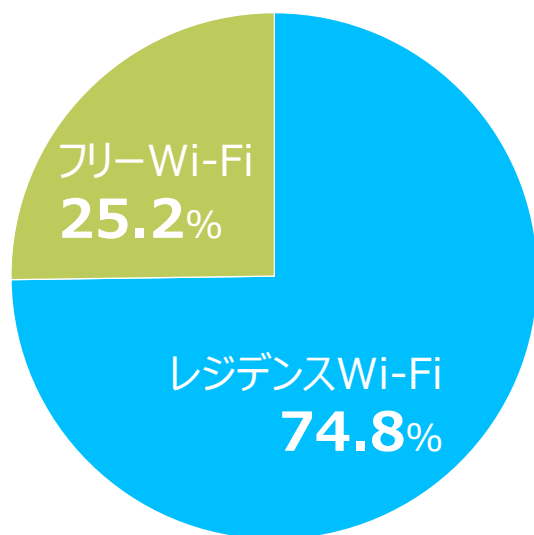
**通信機器の開発・製造から電気通信サービスまで、
一貫して手がける（通信系キャリア以外の）
独立系Wi-Fiソリューション企業***

***独立系公衆無線LAN 事業者**

公衆無線LAN(Wi-Fi)アクセスサービス分野で、総務省（総合通信基盤局事業政策課）
管轄業者かつ提供区域が全国の業者は、現在15社で、当社は大手キャリアと肩を並べる存在

- 2つの主要事業を展開。主力はレジデンスWi-Fiで、売上構成は74.8%（2019/6期）
- 高採算の「顧客PB化支援」（当社は黒子として貢献）に注力

売上構成内訳



2019/6期実績

レジデンス Wi-Fi事業



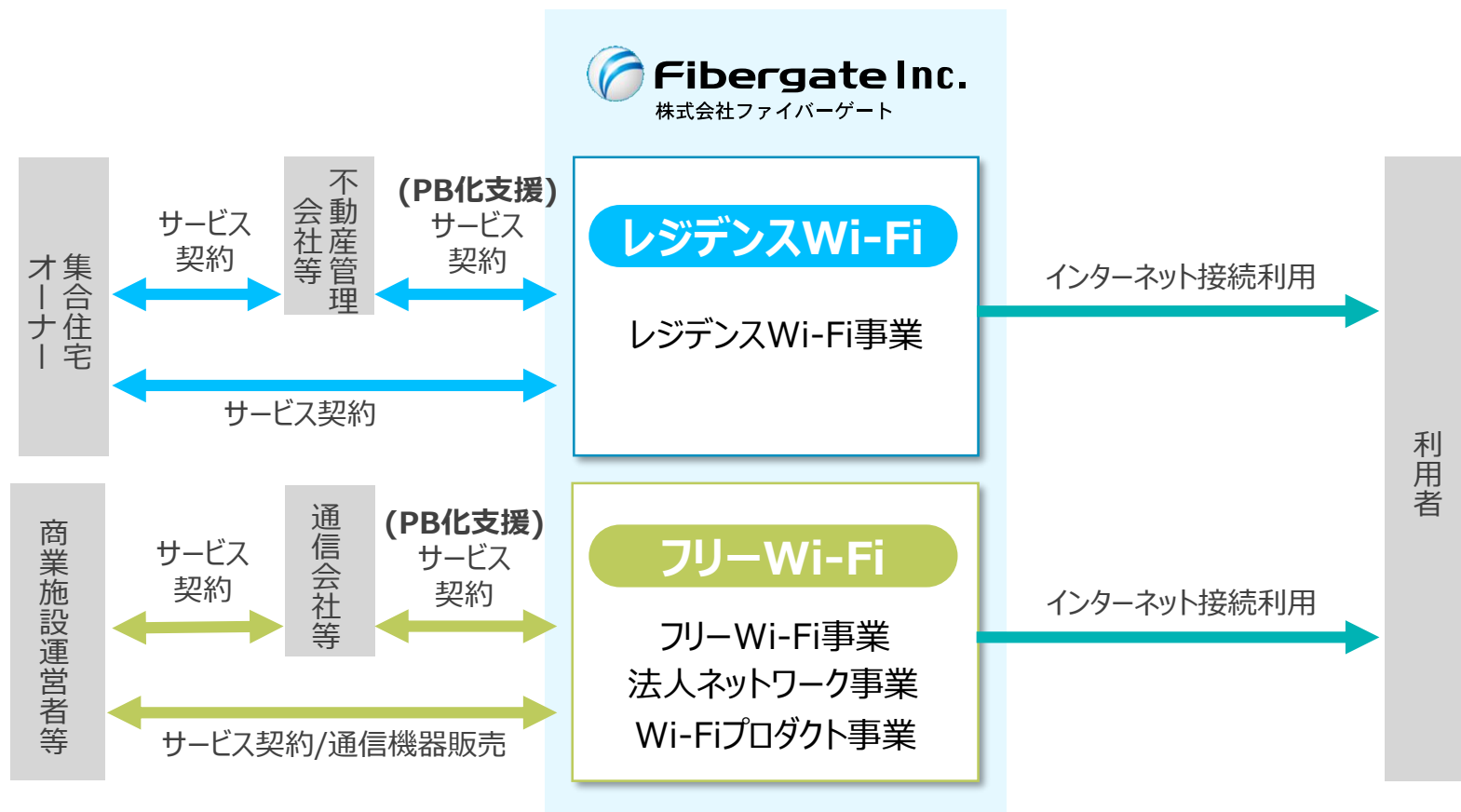
- ・マンション・アパート向け全戸一括インターネット接続サービスの提供
- ・顧客は集合住宅オーナー

フリー Wi-Fi事業

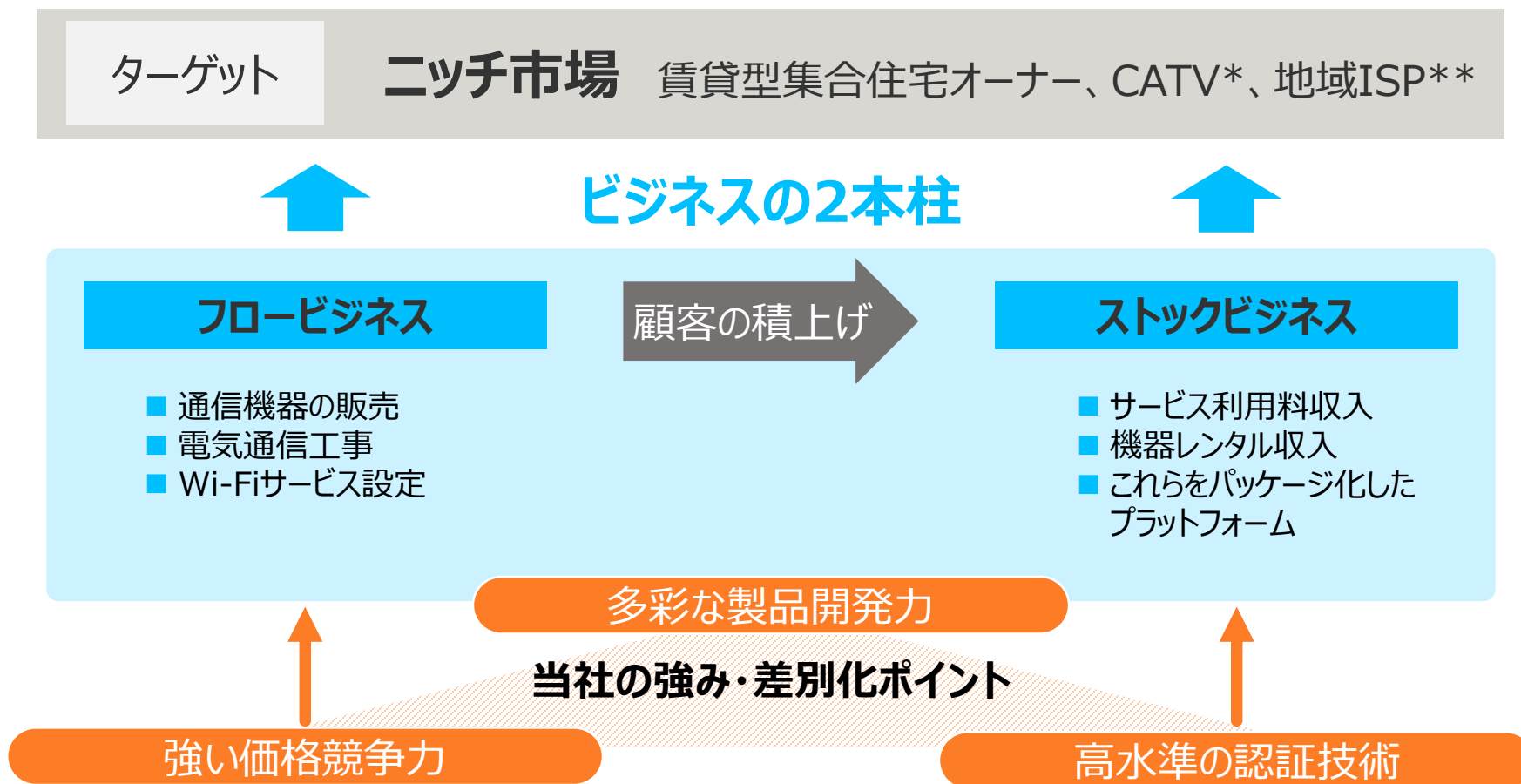


- ・フリーWi-Fi事業(観光地、商業施設向け)
- ・法人ネットワーク事業
(インターネットプロバイダサービスなど)
- ・Wi-Fiプロダクト事業
(通信機器の製造販売)
- ・顧客は観光自治体、商業施設などのロケーションオーナー

- 金銭報酬はサービス契約先より受領。インターネット接続利用者の金銭負担はなし
- 「顧客のPB化支援」が主力



- ニッチ市場に向けて、フローとストックの2本柱を用意
- 当社の差別化ポイントは、「製品開発力」、「価格競争力」、「認証技術」の3点



*CATV : Cable Television。光ケーブルなどを用いてテレビ放送やインターネット接続、電話などのサービスを提供する企業

**ISP : Internet Service Provider。インターネット接続の電気通信役務を提供する電気通信事業者

年	内容
2000	➤ 国内、国際電話サービスの加入取次を目的に仙台市若林区に会社設立
2003	➤ 札幌市中央区に本社移転 ➤ 複数拠点企業のネットワーク構築、Webでのブロードバンド回線販売を主業とする
2004	➤ レジデンスWi-Fi事業を開始
2005	➤ Wi-Fiによるブロードバンド化サービスを開始
2006	➤ PB化支援による集合住宅向けインターネット無料サービスを開始
2008	➤ マンスリーマンション向けインターネット接続事業を開始
2009	➤ フリーWi-Fiサービス事業を開始
2013	➤ コンピュータウェアの企画開発及びインターネット回線取次を担当する子会社NOISを設立
2014	➤ 当社開発通信機器の販売事業（Wi-Fiプロダクト事業）を開始 ➤ PB化支援による店舗・商業施設向けWi-Fiサービスを開始
2015	➤ 電気通信工事業認可（北海道知事許可）を取得 ➤ 台湾に100%子会社・飛博網通技股份有限公司を設立 ➤ 電気通信事業法に基づく電気通信事業の登録免許を取得
2016	➤ 経営革新計画企業に認定
2018	➤ 東京証券取引所マザーズ市場に上場 ➤ 株式分割（1株→2株）実施
2019	➤ 東京証券取引所第一部に上場市場変更 ➤ 札幌証券取引所に上場 ➤ 株式分割（1株→2株）実施
2020	➤ プロダクト開発子会社FG-Lab設立

決算年月 (*単独決算、** 6ヵ月決算)		2015/12期*	2016/6期**	2017/6期	2018/6期	2019/6期
売上高	(千円)	1,464,802	1,023,483	2,787,387	3,977,485	5,446,396
経常利益	(千円)	63,061	55,270	334,836	510,171	886,999
当期純利益	(千円)	16,391	27,012	209,331	312,312	550,888
資本金	(千円)	48,750	51,300	54,300	401,372	426,896
発行済株式総数	(株)	525	54,200	56,200	4,761,900	9,807,400
純資産額	(千円)	168,324	200,854	413,480	1,380,144	1,981,638
総資産額	(千円)	2,129,263	2,255,326	3,054,242	4,364,688	5,311,858
1株当たり純資産額	(円)	320,617.90	74.12	147.15	144.92	202.06
1株当たり当期純利益金額	(円)	31,221.38	10.08	75.92	81.62	57.60
自己資本比率	(%)	7.91	8.91	13.54	31.62	37.30
自己資本利益率	(%)	10.24	14.50	68.15	34.82	32.78
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	–	106,606	544,165	808,563	1,345,616
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	–	▲179,893	▲836,777	▲1,328,849	▲1,389,763
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	–	147,142	313,955	868,783	▲15,102
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	–	748,311	773,093	1,118,034	1,058,574
従業員数	(人)	78	92	115	141	159

ご清聴ありがとうございました。

< 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

問い合わせ先
経営管理本部 IR担当
0120-772-322
fgir@fibergate.co.jp